

＊ 出席報告

1. 本日の出席 会員40名 出席32名 欠席8名
 2. 前回の出席率 100%
 3. 他クラブ状況 函館東 98.67% 函館R、C 93.76%

350地区		出席率	
8月分	函館R、C	11位	98.19%
	函館北R、C	23位	95.63%
	函館東R、C	41位	92%

＊ 卓話

“歴史の教訓” 国史研究所長

山上八郎氏

歴史は人間の歴史で年号の歴史ではない。歴史を縁遠いものと考えずに身近なところから探求すれば、我々の苗字を考察しても興味のあるものである。苗字は地名、官名、その他と区分され、田中、山田等は地名に關聯し、佐藤、斎藤、工藤等は官名に繁がつている。鈴木と言う苗字は關東、東北にあつても、關西には無く、安珍清姫の由来によつて出来た等と興味ある史実が浮彫りされるのである。紋章は800年前につくられて3500種もある。日本では植物をアレンジしたものが多く、外国では動物のものが多く、菜食人種と肉食人種の差が如実に示めされている。

日本原住民は如何なる民族かに就いては多年学説が分かれているが、私はシベリヤから黒龍江をくだり、沿海州經由して日本に渡来したのでないかと思う。そしてアラスカ經由カムチャツカから渡道し、青森～秋田に進攻したアイヌ民族と対決して敗亡せしめて征覇したものである。その時期は今から約1000年位前で、その結果アイヌ民族分散策をとり、日本の各地に移住せしめたものなる故に、九州にもアマミ大島にもアイヌ民族の骨相が残つていると考えられる。

我々の歴史を顧る目は現代に繁がつて居る。歴戦の勇者源義経は兄の頼朝に依つて平泉中尊寺で僅か31才で非業の死を遂げるのであるが、この瞬間に、

外戚北条氏は磐石の基礎を作り、源氏を短命3代にして滅亡させて、北条政権をつくる導火点となる史実を顧る時、人間の歴史は脈々として現代に流れていると断言して良い。大東亜戦争初期、ミッドウエー作戦は日本の絶対的優位の態勢でありながら、僅か5分の油断のために致命的打撃を蒙り、彼我の明暗を決定づけた事は誠に歴史を顧る者にとつて感慨深いものである。日本は世界で最も良い国である。民族の優秀性～住み良い国～道義心の厚い国～我々は日本人らしい日本人として、豊かな国民として栄えようでないか。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第232号

1968～1969-9-25

函館北ロータリークラブ

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

1230～1330

第217回例会

みのりの秋 —— “黄金の海”

10月のこよみ

- 1日 法の日・労働衛生週間
 6日 インターアクト週間(～12日) 国際交通週間
 10日 体育の日・目の愛護デー
 14日 鉄道記念日
 17日 貯蓄の日
 24日 国連の日
 27日 読書週間

本日のプログラム

- 卓話 “ロータリー情報について”
 遠藤ロータリー情報委員長
 卓話 菊地芳男会員

＊ 司会 深瀬会長 ＊ 斉唱 “それでこそロータリー”

＊ ゲスト

- ＊ ビジター 犬塚由一君(碧南R、C工具製造)
 牧謙造君(大分東R、C航空運輸)
 原保君(岩見沢R、C日本料理)
 長谷川権九郎君(函館R、C)外14名
 渡辺熊四郎君(函館東R、C)外11名

＊ 会長挨拶

昨夕共愛会館に於いて会長幹事会が東クラブの鈴木会長がホストで行なわれました。富田分区代理のお話でガバナーの公式訪問も近づいて参りましたので、